

(仮訳)

ファクトシート：日本とバングラデシュ人民共和国との間の包括的パートナーシップ

2019年5月29日

1. 安倍晋三内閣総理大臣とシェイク・ハシナ首相は、2022年の日・バングラデシュ外交関係樹立50周年に向けて、ハイレベルの相互訪問を含む様々なレベルでの取組を通じて、二国間関係を一層発展させていく決意を確認した。

2. 両首相は、自由、法の支配、市場経済といった共通の価値に基づいたルールに基づく秩序を構築することによりもたらされる国際社会の安定と繁栄のための自由で開かれたインド太平洋という考えを共有した。

3. 両首相は、海上自衛隊艦艇によるバングラデシュ寄港の際の親善訓練及び海上保安庁とバングラデシュ沿岸警備隊の交流といった安全保障協力を強化するとの見解を共有した。

4. 両首相は、国連安全保障理事会の包括的な改革の重要性を再確認し、改革の早期実現に向けて速やかにテキスト・ベース交渉を開始する必要性を強調した。この関連で、ハシナ首相は、安保理常任理事国入りへの日本の熱意及び2022年の安保理非常任理事国選挙への日本の立候補に対するバングラデシュの支持を表明した。これに対し、安倍総理は、両国間の信頼の象徴として同支持に謝意を表明した。

5. 安倍総理は、ミャンマーからの避難民を人道的観点から寛大に受け入れ、保護していることについて、バングラデシュ政府に深い敬意を示した。両首相は、連結性を向上し、地域の安定を確保する観点から、コックスバザールの安定の重要性を共有し、避難民とホストコミュニティを支援する必要性を確認した。安倍総理は、国連の協力の下、安全で自発的で尊厳のある形で、避難民のミャンマーへの早期帰還が実現するよう、バングラデシュ政府に対する必要な支援を継続していく意思を表明するとともに、バングラデシュ及びミャンマーの両政府の協力の重要性を強調した。ハシナ首相は、避難の背後にある根本原因への対処を含め、避難民の帰還環境を整えるためにミャンマー政府がとるべき対策の必要性を強調した。

6. ハシナ首相は、経済開発及び社会開発を前進させる意思を表明し、安倍総理は、中所得国化に向けたバングラデシュの取組を引き続き支援する意思を表明した。ハシナ首相は、マタバリ港、アライハザール経済特区及びダッカMRT1号線の建設、並びに省エネルギーの推進を目的とした事業向けに約1,327億円の円借款を供与するという日本の決定に謝意を示した。この文脈で、ハシナ首相は、青年海外協力隊(JOCV)の派遣再開に対する期待を表明した。

7. 両首相は、開放性及び透明性の重要性を確認しつつ、ベンガル湾産業成長地帯（BIG-B）構想の進展に満足 of 意を表明し、この構想の下でのマタバリ港開発計画を含む協力事業が、バングラデシュ及び地域の社会経済開発に大きく寄与し、地域の連結性を強化することを確信した。

8. 両首相は、南部チッタゴン開発がBIG-B構想に包含されることを認識した上で、社会・経済上、環境上及び商業上持続可能な方法で南部チッタゴンを開発することの重要性を確認し、また、日本企業が重要な役割を果たすマタバリ港のLNG及びLPGターミナルの開発を前進させる意思を表明した。

9. 両首相は、ビジネス環境を改善し、外国送金、税金・関税、エネルギー等の課題に対処するための日・バングラデシュ官民合同経済対話（PPED）を含む、日・バングラデシュ間の一層の経済活動に対する期待を表明し、バングラデシュのダッカにおける官民合同経済対話第4回会合の近い将来の開催に向けた準備を歓迎した。両首相は、アライハザール及びミルシャライにおける日本企業向け経済特区の開発に関する協力を確認した。

10. 両首相は、日本に留学するバングラデシュ人が増加している中、日本政府の国費留学制度、人材育成奨学計画（JDS）、21世紀東アジア青少年大交流計画（JENESYS）等の文化・教育事業を通じた人的交流を一層深めていくことで一致した。加えて、両首相は、イノベーティブ・アジア等の事業を通じて、日本国内の日本産業のイノベーションを促進し、バングラデシュの発展に貢献し、日本と他のアジア諸国との繋がり強化を手助けする有能な人材を育成することを目的とした事業のための更なる協力の潜在性を強調した。

11. 両首相は、バングラデシュの看護等の分野における優秀な多くの人材が日本で雇用機会に高い関心を示していることを認識した。両首相は特定技能人材の送出し及び受入れを目的とした協力覚書（MOC）の署名に向けた議論を歓迎し、各国の国内法令を遵守したこの制度の適切な運用によって、日・バングラデシュ間の互恵的な関係が一層推進されることへの期待を表明した。

12. 両首相は、2020年東京オリンピック・パラリンピック大会及び同競技大会以降に向けて、バングラデシュのためのホストタウン、東京都豊島区との交流を含め、日・バングラデシュ間の活発な人的・文化的・経済的交流への期待を示した。